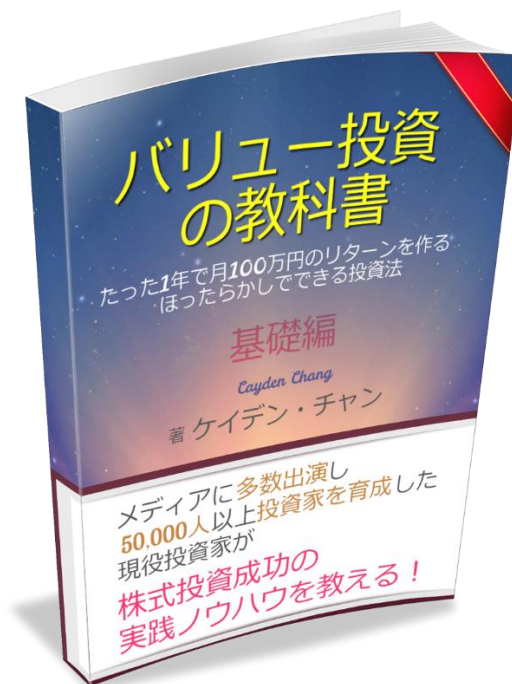


投資を始めたいのに何から始めたら・・・？  
投資経験ゼロの OL もたった1年で  
月 100 万円の不労所得を作れた投資術

## ”バリュー投資”の教科書

ビジネス誌プレジデントにも特集される  
現役投資家が 5 万人以上の投資家を育てた  
世界一堅実な王道・株式投資の成功法則



---

### 【目次】

第 1 章	はじめに 成功する投資家になるための 3 つのポイント	Page 2~19
第 2 章	本編 バリュー投資の教科書	Page 20~63
第 3 章	あとがき 監修者ご挨拶	Page 64~65

---

## 第1章 はじめに 成功する投資家になるための3つのポイント

こんにちは。

この度は、

『**”バリュート投資”の教科書**』限定PDF(小冊子)をダウンロード下さり

誠にありがとうございます。

初めて「株」を学ぶ方

株式投資 再チャレンジ中の方のための

たった1年で月100万円のリターンをつくる

ほったらかしでできる投資法

『バリュート投資』ナビゲーター 丸山拓臣 (Takumi Maruyama) です。

### 世界一カンタンな王道投資

についてわかりやすく解説して参ります！

さあ、

この『**”バリュート投資”の教科書**』では、

株チャートや数字がどんなに苦手な、

株式投資 **超初心者**でもできる

いつの間にかお金持ちになる!

## 世界的カリスマ講師直伝の手法

を使い、

ほったらかしでも  
どんどんお金が増え続ける

## 王道・株式投資のカラクリと

世界の 0.01%の富裕層しか知り得ない

**資産形成の全貌**を理解し

どのように

それを**あなたが実現させるか?**

世界的カリスマ講師にもたびたび登場頂いて

**世界一わかりやすく**

お伝えして参ります!

本日は、私、丸山拓臣 (Takumi Maruyama) のことについて  
少し自己紹介させていただきます。

現在、

シンガポール No.1 投資教育家で偉大なメンター  
ケイデン・チャンの運営するバリュー投資アカデミー  
日本唯一の公式エージェントパートナーとして、

日本国内での  
彼の活動をサポートさせていただいています。

また、自らバリュー投資大学を日本で立ち上げ、  
投資教育の啓蒙に努めています。

今回、

**「師との出会い」** とその教えの実践が

劇的に私の人生を変えた経験から、

**本物・本流・王道の投資ノウハウ**を知ることが、

いかに人生に

**大きなインパクト**を与えたのか

についてお話させていただきます。

ケイデンとの初めての出会いは約7年前に遡ります。



ある日本人起業家を介し、  
シンガポールで偶然にも彼に出会ったのです。

その日は軽い挨拶だけをし、  
私とは無縁で住む世界も違えば、  
それ以降二度と会うことはないだろう程度に思っていました。

当時、  
私は大手町にある商社と江戸川区の自宅間を、  
超満員電車で毎日往復を繰り返す  
会社員生活を送っていました。



残業の多さや自分のコントロールが利かない環境に、

**大きな違和感**を感じ、

人生にも嫌気がさしていました。

また、

昭和を支えた日本を代表する大企業が  
続々とリストラを敢行しており、

将来に一抹の**不安**を抱えていた

時期でもありました。

そして時が経過し、

**耐えられないほどのストレス**を感じており、

このままでは自分の人生は**お先真っ暗**で、  
かすかな希望さえ感じる事が難しいと思い、  
脱サラする覚悟をしていました。

なぜなら、

当時、東北地方(福島県)の実家は 3.11 の大震災で半壊し、  
さらには、多くの友人を亡くした経験も重なり、

精神的にも辛く

**人生に絶望**していたこともあり、

その決断にも拍車がかかっていたのです。

私には、

## 人生を変えたい！

彼らの分まで懸命に生き抜こう！  
将来、被災地にも貢献できる器ある男になろう！

という目標がありました。

年収を当時の 10 倍以上、

つまり、**億を稼ぐこと**を夢見て、  
会社を辞め独立を目指したのです。

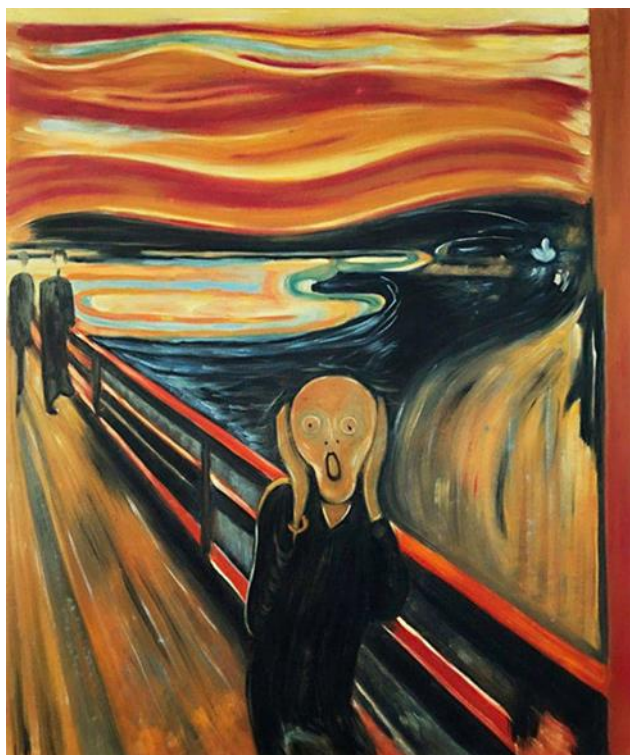
ところが、

10 倍以上の年収を稼ぐつもりが、

一転、

年収の10分の1すらも稼ぐことができない時期

が続き、



どうしようもないほど精神的にも追い込まれ、

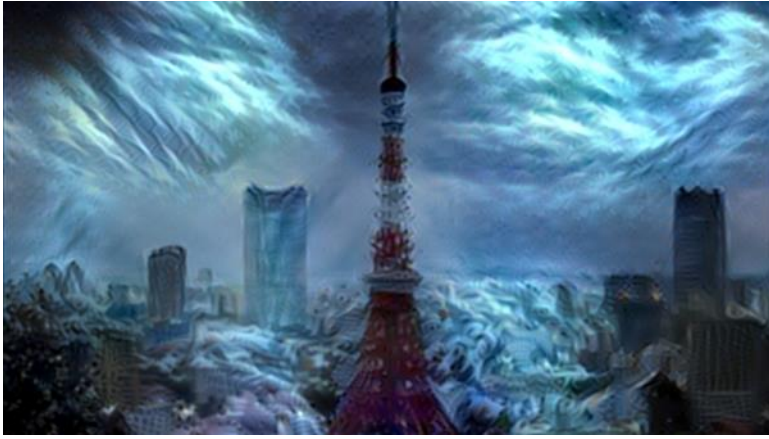
さらに**絶望**していました。

**人生崖っぷちの断腸の思いで、**

生活もままならず

モヤシとうどんの日々でした。





それもそのはず、  
安定志向の両親のもとに育った私には、

投資家や起業家、  
ゼロイチ(0→1)を立ち上げるビジネスマンとしての

**考え方やスキル、**

**戦略**のかけらもなかったわけです。

苦しく眠れぬ夜、  
以前にある日本人起業家との出会いがあったことを  
ふと思い出しました。

勇気を振り絞り彼に連絡をとり、

将来は寄付貢献もできるような

立派な**投資家を目指したい！**

と正直に想いを語り、  
私の心の声にも  
耳を傾けて頂きました。

そんな日本人起業家との縁から始まり、

世界的なビジネスリーダーや  
投資家達が拠点を置くシンガポールに  
私は飛ぶことになったのです。

そして、

最終的には、

幸いなことに**世界有数のバリュー投資家**である

**カリスマ講師 ケイデン・チャン**と出会い、

彼の傍で、

ゼロから学び

投資の**指導**を

**直接に受けられるような環境**

に身をおきました。

それから、

**人生における知恵、**

資産構築法、

資産倍増の戦略

を授かることができ、

人生が変わり始めたのです。



ある日、

私は彼に尋ねました。

「あなたほどの富豪が、人生でもっとも大切にしているものは何ですか？」

財産、富、名声……そんな答を想像していた当時の私には、  
とても意外な答えが返ってきました。

愛する妻や家族以外に、

もっとも大切にしているのは、

「健康！」であると断言していました。

彼自身、それまでにビジネスで成功を収める最中、

**3度の癌**を患っており、

いずれもそれを克服していたのです。

(このお話は別の機会にまた追ってシェアします)

逆に彼からは、シンプルにこう聞かれました。

「あなたの夢は何ですか？」

「成功した投資家になりたいのです！」

私は答えました。

たくさんの助言をもらいましたが、中でも、

「まず、**ポイントは3つある**のです

①正しいお金の知識を得る

②メンターの重要性を理解する

③スキルを充実させる

これらをマスターしなさい」

当たり前にも感じられるが、

意味深いキーワードと言葉が心に響きました。

それからというもの、

当時、3度の癌を経験しているにもかかわらず  
信じられぬほどにエネルギッシュに生きる  
彼の世界観と投資の知恵に  
ますます惹き込まれ、

小さい思考の枠が

急速に拡大していくのを感じていました。

彼から

人生とビジネス(投資)の成功の秘訣を

徹底的に学ぶことを新たに誓いました。

いっばしの投資家になるためには、

それら3点を充実させる必要がある

と理解しました。

そして、

彼自身が日々どのように学び、  
情報や知識のメンテナンスをし、  
投資で大成功を収めているのか

を知りました。

私は同時に、

なぜ彼が**バリュー投資の教育**を

**アジア 11 都市**で

積極的に展開しているのか？

深く調べてみたくなったのです。

まさに、

このアカデミーで教えている内容は、

経済的閉塞感の強い現代日本に、

**ズバリ求められているモノ**

であり、

老後の蓄えの準備が迫られる世代、

働き盛りの我々の世代や若者達も

率先して

至急学ぶべきことが**たくさん詰まっている**

と明白に理解できたのです。

私にとって、

この機会において、

どのようなかかわり方があるのだろうか？

それは、

バリュー投資アカデミーの日本窓口として彼に協力することであり、

日本の出来るだけ多くの方に、

**本物の王道・投資法**を知ってもらいたいと

**情熱**が芽生えたのです。



例えば、

時間をかけずに、

## いつの間にか資産を倍増させる方法など

実にさまざまな恩恵があり、  
真に平等な機会が

求める人  
誰にでも提供されているのです。

副業として月5万円程度の収入源を確保したい主婦から、

天井なき大きな継続収入を得たい独立指向のビジネスマンまで、

実に幅広い層に

**大きなチャンス**が広がるのです。

私自身も、

彼の教えから得た学びやヒントを活かし、

そして、

何より資産構築の**ポートフォリオ戦略**に沿い、

行動し実践することで

得られた**恩恵**は

計り知れないものがあります。

彼に出会った当時は、



月5万円の収益すら確保することさえできなかった私が、  
月当たり300万円超の収益確保に成功したり、

定期的にもたらされる収入源の確保、

世界で活躍する成功した投資家  
との業務提携など、

従来の自分には想像もできなかったような

**充実したライフスタイル**を

実現することができました。

こういうわけで、

**優れた師(メンター)**から

正しい投資ノウハウを学ぶことの

重要性を再度強調したいと思います。

好機は人との出会いが運んでくれるものです。

人生のあらゆる領域において導いてくれた  
ケイデン・チャンには心から感謝しています。

3度の癌を克服し、

その体験を綴った自著の著者印税を  
癌研究センターに全額寄付している  
慈善家としての彼の活動にも  
感銘を受けています。

そのような貢献姿勢も  
人間として素晴らしいのですが、

なにより、

正しい投資法を知って欲しいと願う

**彼の情熱**にも刺激され、

私自身も

**全身全霊 彼に全面協力**し、

活動支援することで、

できる限り多くの日本人に、

より豊かで

**自由なライフスタイル**を築いて頂く

サポートをしたいと決意を固めました。

そして「あなた」にも **経済的自由人**になって欲しい。

「あなた」に毎朝、

経済的に自由な感覚の中で目覚めて欲しいのです。

もし、そうありたければ、

まず**正しいお金の知識**を得る必要がありますね。

そして、

優れた師(メンター)のアドバイスのもと、

きちんとした**ステップ**と**行動計画**が大切です。

そんな訳で、

ケイデン・チャンの教える**バリュー投資**とはなにか？

**バリュー投資**を学ぶことで得られる恩恵とはなにか？

その辺りを深掘りし、

お届けできればと思っております。

### 「株」の魅力

1. 預金するより効果テキメン！
2. 配当金が手に入る
3. 誰でもカンタンにできる
4. ほかの投資法よりも安全

1. 預金するより効果テキメン！

100万円を年利0.01%(単利)で銀行預金するのと、  
100万円を年利5%(複利)で株式投資するのと、

あなたはどちらを選びますか？

2. 配当金が手に入る

会社に利益が出たら、その一部を配当としてもらえる。

3. 誰でもカンタンにできる

口座開設、株銘柄選び、買う、売るの基本動作を学ぼう。  
少額からでも始められる。

4. ほかの投資法よりも安全

株式投資、その中でもバリューストック投資が圧倒的に魅力ある投資法。  
債券、いわゆる投資信託、FX、トレード、商品先物取引とは一線を画す。

## 株で儲かる仕組みとは？

株式投資を行うことによる利益には大きく3つの種類があります。

では、株を買うことで得られる利益とは具体的にはどのようなものでしょうか？

株で得られる3つの利益について、詳しく解説していきましょう。

株で得られる利益には、

**値上がり益（売買益）、**

**配当金、**

**株主優待**

の3種類があります。

### 1. 値上がり益（売買益）

値上がり益（売買益）とは、株を買った金額と売った金額の差額の利益です。

このキャピタル・ゲインとも呼ばれる値上がり益が、

株式投資の中でも最も大きな儲けになる利益です。

たとえば、株価が1,000円の会社の株を100株買ったとします。

この場合、株式の購入金額は10万円です。

その株を株価が2,000円に値上がりしたときに全部売ると、売却金額は20万円。

つまり、差額分の10万円を値上がり益（売買益）として得ることができるわけです。

株が上がったり下がったりする理由は、  
実はたった一つしかありません。

投資家が株を購入すれば株価は上昇し、  
投資家が株を売却すれば株は下落します。

例えば、魅力的な新製品が発表され、その株を「欲しい」と思う人が増えると株価は上がります。

逆に、ビジネスで失敗して赤字になったなどの悪いニュースが出ると、  
その株を手放したい人が増えて株価は下がることになります。

## 2. 配当金

配当金とは、企業が事業で上げた利益の一部を還元してくれるものです。

あなたは株を買うことで企業のオーナーになったわけですから、

利益を分けてもらう権利もあります。

これが「配当金」というもので、

企業によって1年に1~2回支払われ、金額もそれぞれに異なります。

### 3. 株主優待

株主優待では、自社製品や金券類などがもらえるのです。

企業が株主に行うサービスに、

自社製品を無料でくれたり、

株主ならではの優待価格でサービスを提供したりする、

株主優待と呼ばれる制度があります。

値上がり益や配当金のように現金をもらえるわけではないので、

利益とはいえないかもしれませんが、

優待品を現金に換算して利回りを計算すると、

かなりオトク感のある株主優待もあります。

株で損することも・・・ただし出資額以上のマイナスはない

株を買って企業のオーナーになると、

「値上がり益」「配当金」「株主優待」の3つの利益をもらう権利を手にできます。

ただし、企業の業績が悪化したら、株価は下がります。

あなたが買った値段よりも下がったなら、  
損をすることになりますよね。

万一、企業が倒産したなら、

その企業の株は価値を失い、出資したお金も戻ってきません。

つまり、企業の選択が大変重要であると

わかっていただけましたか？

ただし、損をしたとしても、

出資額より大きなマイナスが発生することはありません。

ここでは、  
株式投資は誰でもできると覚えておきましょう。

## 「バリュート投資」で大金持ち！

バリュート投資とは？

世の中には業績の良い会社・悪い会社があれば、



成長に期待できる会社・できない会社もあります。

バリュート投資とは、業績が良く、将来的な成長にも期待できる会社でありながら、株価が高くないとき(割安株)をねらう手法です。

株の投資法はさまざまありますが、なかでもバリュート投資は世界的にその有効性が認められているものです。

世界長者番付トップ常連の投資家であるウォーレン・バフェットもバリュート投資の実践者です。

バフェット：

「企業の本源的価値が分かっているならば、それを生かして有利にトレードできる。株価が、本源的価値と比較して、ばかばかしい程、安い水準まで売られた時に買うことで、利益が得られる」

## ウォーレン・バフェットとは？

1930 年生まれのアメリカの投資家。

投資会社バークシャー・ハサウェイ会長兼 CEO、筆頭株主。

慈善活動に熱心なことでも有名。

コロンビア大学で「バリュート投資の父」と呼ばれるベンジャミン・グレアムに師事し、バリュート投資を実践、巨額の資産を築き上げた。

バリュート投資を理解する上で、ウォーレン・バフェットについては、予備知識としてしっかりここで理解しておきましょう。

ウォーレン・バフェットの名前は、投資に馴染みのない方には、聞いたことがないかもしれません。

約 50 年以上前に、倒産寸前の繊維会社を買収し、

2019年4月時点で時価総額5,200億ドルにまで成長した会社の会長兼CEOで、今年（2020年）で90歳になります。

彼の個人資産は、約9兆円以上、世界第三位の大富豪です。

彼は6歳で商売を開始、11歳で株取引を始めました。

6歳の時に、コーラを6本25セントで購入し、1本5セントで売る商売を開始。11歳で初めての株券を38ドルで購入。

一時急落するものの、40ドルまで持ち直した時に売却したのだ。

投資家として本格化するのには大学生になってからですが、株取引に関しては非常に優れた才能を発揮した人物です。

彼が他の投資家と大きく違ったのは、日々のチャートに左右される方式を取らず、

ファンダメンタルズ分析を主流としたバリュー投資を行い、70年以上の経験で今の富を築きました。

彼は、米国ネブラスカ州オマハにあるバークシャー・ハサウェイ社を本拠にしています。

同社は1888年に綿紡績業として設立されましたが、米国繊維産業の衰退とともに凋落。

以前から株を保有していたバフェットが、1965年に買収した時は倒産寸前でした。

その後事業の多角化を行い、世界を代表する投資会社へと変貌を遂げました。

先にも書きましたが、彼が最も実力を発揮したのは、バリュー投資法を使って、投資経験を積んだことです。

バリュー投資のコンセプトは、優良企業の株を割安で求めるという非常に簡単なコンセプトですが、

この簡単なコンセプトを多くの投資家が守れないことから、  
現在も尚、彼が世界有数の投資家の地位を守り続けているという事になります。

彼は、自分の得意分野を絞り、  
その中で有能な経営者が運営している企業を探し、  
しかも株価が割安な銘柄を選んで投資するという方法をとります。

あたかも、株券ではなく、『会社を買う』のです。

次に、その株式を長く保有します。

彼は6歳で商売をスタートし、

オクラホマ州にある石油会社の株に幼いうちから株式投資を開始するのですが、  
子供の頃に小さな商売で少しずつお金を貯め、学生になると本格的にそれを運用する。

そして、更にそれを元手に投資家として活動するというパターンは、  
米国の起業家では多いようです。

## バークシャー・ハサウェイとは？

バークシャー・ハサウェイはウォーレン・バフェットが会長兼 CEO を、  
チャーリー・マンガーが副会長を務めています。

バークシャー・ハサウェイには2018年時点では、15人の取締役及び役員がおり、  
様々な子会社、関連会社、株式等を所有しています。

実質的に会長兼 CEO で筆頭株主であるウォーレン・バフェットと、  
副会長のチャーリー・マンガーの2人が運営する株式会社の形態をとった投資ファンドです。

バークシャー・ハサウェイは、時価総額60兆2,800億円と世界第7位の時価総額です。

日本で第一位の規模を誇るトヨタ自動車の時価総額は24兆7,792億円で、

パークシャー・ハサウェイはトヨタの約2倍以上の規模の会社という事になります。

バフェットは、「株式会社という形態をとっていても、パークシャーはパートナーシップであると私たちは考えている。私たちの長期的な財政上の目的は、パークシャー株の内在価値の一株当たり平均年間収益率を最大限に高めることである」と表明している。

バフェットは、内在価値と乖離した高い株価を好んでおらず、  
「パークシャーの株価は内在価値を反映した妥当な水準であること」を望んでいるそうです。

パークシャー・ハサウェイの保有している代表的な銘柄：

Apple (アップル)

Bank of America (バンクオブアメリカ)：アメリカ第二位の銀行

Coca Cola (コカ・コーラ)

American Express (アメリカン・エクスプレス)

Wells Fargo (ウェルズ・ファーゴ)：アメリカ第三位の銀行

多くの人々が知っている企業であり、  
製品・サービスについても簡単に理解できる業種が多いのも、  
バフェット、そしてバリュート投資家としての特徴の一つと言えるでしょう。

投資会社パークシャーは、自動車保険や鉄道、電力会社など複数の事業会社を傘下に持ち、  
実態は巨大な「コングロマリット (複合企業)」に近い。

米国内で事業を展開する企業が多く、米国景気拡大の恩恵を受ける。

## バリュート投資

バリュート投資は株を割安なところで買って、株価の伸びを待つ投資法。  
数カ月～数年間保有します。

その間は、たいしたチェックをしなくてもよいのです。

つねに株価を見ていなければならない手法もありますが、バリュート投資ならそんな必要はないのです。

また、ひとたび割安株のを見つけ方を知ってしまえば、迷わず投資対象を見つけ、高確率で利益を出せます。

バリュート投資とは・・・

現在の株価がその企業の利益水準や資産価値などから判断して、割安にあると考えられる銘柄を買い付ける手法です。

あえて難しい言い方をすれば・・・

多くの場合、株式の個別銘柄の代表的な投資尺度である PER（株価収益率）や、PBR（株価純資産倍率）などを用いて判断し、これらの数値の低い銘柄を買い付ける投資手法と言われますが、そこまでをいま覚える必要はまったくありません。

## バリュート投資の魅力！！

### 1. ほったらかしでも、いつの間にか貯まっている！

選んだ会社の株を買ってしまえば、後はいちいち株価などをチェックする必要がない。たまに見るだけで OK。買った会社の株価は上がっていくので、自然と利益も増えていきます。さらに、投資家がよく見るチャートなどがわからなくてもカンタンに儲かります。

### 2. 高確率で儲かる！

一定の基準をクリアした会社なら、実績と成長性は大丈夫。

さらに、買ってから株価が上がるまでは、配当金で儲けていきましょう。

### 3. めぼしい会社がカンタンに見つかる

ふだん使っているモノやサービスを提供している会社から、めぼしいところを見つければいい。難しく考える必要はありません。

## これから身につける 4 つのこと

銘柄をやみくもに選んで買っても、なかなか儲かりません。選ぶ際に、その会社の財務内容を調べたり、事業に将来性があるかを見極めたりします。

となると、そのための最低限の「知識」が必要です。

また、投資にはそれなりの「元手」も必要です。投資に使える余裕資金などないという場合は、貯蓄を増やしてから始めると良いでしょう。

さらに、バリュー投資で利益を上げるには、「時間(期間)」があるほど有利です。

1. 知識
2. お金
3. 時間(期間)
4. 行動

### 1. 知識

損せず利益を上げるにはそれなりの知識が必要。とはいえ、誰でもわかるレベルです。

## 2. お金

投資は数万円から可能です。

とはいえ、生活に支障をきたさない余裕資金から投資に回すようにしましょう。

## 3. 時間(期間)

投資にかけられる期間は長ければ長いほど有利。

若いころから取り組むのがベストですが、たとえ数年間でも十分稼げます。

## 4. 行動

勉強はしているのに行動に移せない人は多い。

動かなければ何も始まらない。

実際に投資してみてわかることも多くあります。

**この流れで利益をゲット！！**

1. 探す
2. 評価する
3. 判断する
4. 配分を考える

### 1. 探す

身の回りから、ニュースから・・・。

自分の興味ある会社で OK。

### 2. 評価する

探し出した会社の「質」を評価しよう。

その方法はいたってカンタン。

### 3. 判断する

評価基準をクリアした会社が、いま投資しても儲かるのかどうかを判断。

### 4. 配分を考える

資金をうまく分散して投資できれば、後は利益が増えるのを待つだけ。

## よい株を選ぶ方法

「よい株を選ぶ方法がありますか？」・・・と、多くの方から異口同音に聞かれます。

当然ながら、成長する株を選ぶことで、収益を得られますね。

### 【1】 投資本来の意味

株を買うということは、つまり、買っているのは会社のビジネスである。

上下する株価の数字に翻弄されるのではなく、本質を見極めていく必要があります。

株式銘柄を選ぶ際には、新聞紙上で上下に変動している株価はいったん頭から消してしまいましょう。

ビジネスの中身や全体像を理解しようとすることはあっても、決して数字だけに囚われるべきではありません。

そして、証券会社の営業マンのアドバイスや証券アナリストの発信にも耳を傾けてはなりません。



株式投資とは、その会社のビジネスの一部を買うことと同義であると理解しましょう。

何をしている会社であるのか、  
そのビジネスの中身があなたにも理解できる優良企業を選ぶことがポイントです。

## 【2】 優良なビジネス

優良なビジネスとは、  
周りに壁を作り、競合他社を圧倒してしまう様な独自性あるポジションを築き、  
自社の商品価格を上げて成長し、  
状況に応じて支出をまかなえる環境があることです。

優良なビジネスには「経済のお堀り」と呼ばれるものがあります。

中世ヨーロッパのお城を想像してみてください。  
外敵から身を守るために周囲に人工的なお堀りを作り、  
敵陣に攻め込まれないようになっていますよね。

それと同じく、知的財産なども経済のお堀りの類です。  
これらは同業他社や競合他社の参入を簡単には許しません。

優良なビジネスを選ぶことにより、  
投資に対する利益を安定的に得られ、  
さらに成長の恩恵を得られるのです。

## 【3】 投資の複利効果

仮に、1950年代にウォーレン・バフェットに10万円を預け投資してもらっていたとしたら、  
その金額は今頃30億円以上になっているはずです。

毎月10万円以上をコツコツ貯蓄していたとしても、  
1億円に到達するだけでも一生かかるでしょう。

その上、銀行でコツコツ貯蓄したところで、  
超低金利の中で利息は無いに等しく、  
インフレーションによってその価値を失っているとも言えます。  
意識せず、なんの対策も打たずに銀行口座に放って置いておくだけでは、  
価値を目減りさせているといえます。

これがまさに投資をするべき理由なのです。

たんに貯蓄をするのみだけでは、  
決して経済的な自由を得ることはできないのです。

#### 【4】株式市場

「短期的に見ると、株式市場は投票マシンのようだが、長期的には、体重計のようである」

この名言を言った人物は、誰だか分かりますか？

世界一の投資家 ウォーレン・バフェットに大きな影響を与えた

世界初のバリュート投資家 ベンジャミン・グレアムでした。

投資を本格的に勉強している方の中では、  
知らない人は居ないという位に高名なアメリカ合衆国の経済学者です。

今日でもよく「バリュート投資の父」と言われています。

『賢明なる投資家』という彼の本が日本でもでています。

主旨は、「割安な銘柄に投資することが長期的な好パフォーマンスをもたらす」  
というものなのですが、

投資マニアでも理解するのに相当な労力と努力が必要でしょう。

話をもとに戻しますが・・・

「短期的に見ると、株式市場は投票マシンのようだが、長期的には、体重計のようである」

この名言の意味は、

要するに、

短期的に株価を見ると、上がったたり下がったりすることが起こりやすく、これは人々の心理的なものが要因であり、非常に非合理的な現象といえるでしょう。

例えば、2008年の株式市場の暴落では、マクドナルドのような優良な企業は、現実世界では経営がうまく走り続けました。しかし、誰もが株を買うことを恐れていたため、株価は非常に低かったのです。

また、驚くべき事実として、当時このような優良な企業の株を買っていれば、今頃の株価は何倍も高くなっているでしょう。

そのため、バリュー投資家は優良な企業の株を合理的な価格で購入しようとするのです。

市場が非合理的に動いていることが分からない場合は、市場が株価を押し下げたときに、株を売却するに間違いありません。このように多くの人が市場を敵だと思い込んでいるのです。

多くの人が損をしている理由は、株式市場の奴隷のようになっているからなのだ。

代わりに株式市場を親友のように仲良くなってみましょう！

市場が怒りを抱き、株価を押し下げるときは、  
優良な企業を割引した価格で買えるのと同じで、  
最も購入が相応しい時期ということです。  
(大規模なクリアランスセールと考えてみてください)

割安株“大バーゲンセール”のチャンスが到来することが、  
少なくとも10年に一度はあることでしょう。

そのチャンスを掴むためにも、本物の株式投資を今から学び、  
資産形成の準備を始めましょう！

## 【5】資産と負債

負債ではなく資産を構築するために人生を変えなければなりません。

負債とは何でしょうか？

例えば、スポーツカーはお金を生み出すものではないため、負債だと考えられます。

毎月の返済が残り、せっかくの資産が少しずつなくなっていきます。

他には、高級な絵画やブランド品など様々なものがありますね。

負債を減らし、資産構築へシフトすることに意識を集中させましょう。

負債の逆は、資産です。

資産は価値を高めてくれて、より多くのお金を生み出します。

株はすぐを買うことができる資産です。

成長する株を買うことは、最高の資産を得ることと同じです。

継続的に伸び続け、そこで得られた利益でさらに良い株を買う・・・。

この手順を繰り返すことで、あなたも望んでいた豊かな暮らしができるでしょう。  
是非、その一步を踏み出しましょう。

## こんな会社が魅力的！

- ・何をやって稼いでいるかわかりやすい
- ・将来性がある
- ・世界で(グローバルに)事業を展開している
- ・利益を出している
- ・成長している
- ・他社に負けない特性がある
- ・上手な経営ができています
- ・株価が会社本来の価値よりも安い

## 株式投資の全体像

まず、株式投資の全体像について見て行きましょう。

株式市場には、ゆうに1万を超える個別の株式銘柄があり、

ほぼ同じだけのミューチュアル・ファンド（様々な個別銘柄を選んで組み合わせたもの）が存在します。

株式投資でお金を得る方法は、  
山ほどに沢山存在します。

企業の分析の仕方についても、

まず、ファンダメンタル分析を用いるべきなのか、

又は、テクニカル分析を用いるべきなのか。

債権市場についてはどうだろうか？

期間や金利は？等。

これらはみな、

毎営業日ごとに、随時更新され、どんどん移り変わって行きます。

この全てを知り把握しておくことは、まったくもって不可能なことなのです。

それは、非現実的な途方もないお話です。

株式投資には、大変シンプルといえる基本原則があります。

どの銘柄を選び、

それをいつ購入するのか？

そして、いつ売却するのか？

それらを学びましょう。

何を、いつ、そしてどの様にして、

株式投資で成功を目指すのかを、

是非、明確にして参りましょう。

## 株式市場で成功する

投資とは、どちらかと言うと、受身のプロセスです。

商品やサービスを能動的に売買する作業ではありません。  
(そこに集客や販売のスキルは求められません)

それは単に、株、債権、オプションといった金融商品を売買する行為です。

株式は上場企業の一部を保有できる権利です。

偉大な投資家であるためには、  
いわゆる一般的な意味で企業運営をする必要はなく、  
人々に関わる必要もありません。匿名にすることもできます。

株式を保有することで、間接的に、ビジネスを所有することになるのです。

株式を保有する企業の従業員が朝から晩まで、  
株主である自分のために、  
一生懸命働いてくれるようなものなのです。

株式投資は、

パソコン上でインターネット環境にアクセスし、すべてを行うことができます。

投資に要する時間は、1日に数分、月に15分程度でさえ行うことができますが、

結果は長い時間をかけて蓄積され増幅していきます。

『中長期での投資』・・・などという言葉も、耳にしたことがあるでしょう。

では、世界の金融市場の神話と現実を見ていきましょう。

株もミューチュアル・ファンドも何千という数に上ります。

かなりの数になりますね。

しかしながら、

この投資手段のデータは毎営業日、どんどん変わっていきます。

これら全てを知り正確に情勢を把握することは、  
到底無理な話なのです。

よって、努力するまでもありません。

徒労に終わってしまいますし、  
なにより毎日すぐに日が暮れてしまいます。

気の遠くなるような膨大な量のデータについては、一切考える必要性はありません。

先述の3つのシンプルな質問のポイントに絞って集中しましょう。

- 1) どの株を購入すればよいのか？
- 2) いつ購入するのか？
- 3) いつ売却するのか？

これらが明確に理解出来たとき、  
あなたは株式市場で成功を掴むべく、  
自信をもって投資家としての道の第一歩を  
しっかりと歩み始めることでしょう。

質問：どの会社（又は、株）を購入すべき？

答え：全部

えっ~!?

どのように???



一般的な投資家にとっては、まったく思いもよらないアプローチで、新鮮なことでしょう。

個々の会社の個々の株式を、それぞれ購入するのではなく、幅広いインデックスファンドを通じて株式を購入するということなのです。

では、インデックスファンドとはいったい何なのでしょう？

それは、例えるのならば、

あなたが投資したい証券取引所で取引している個々の企業の株式が全て入ったバスケット籠(かご)の様なものなのです。

では、ここで、

アジアにおける一般的なインデックスファンドの過去数年における成長率を見て、あなたが投資してもよいと思うものを選んでみましょう。

+++++

- 香港 (Hang Seng Index) ハンセン指数は 50 社の株式から構成されています。

1987 年から 2016 年までの年間成長率は 7.97%

- シンガポール (The Straits Times Index) ストライツ・タイムズ・インデックスは、30 社の株式から構成されています。

1988 年から 2016 年までの年間成長率は 4.47%

- 日本 (Nikkei 225 Index) 日経 225 指数は 225 社の株式から構成されています。

1985 年から 2016 年までの年間成長率は 1.68%

- 台湾 (Taiwan Capitalization Weighted Stock Index) 台湾の資本金加重株価指数は、上場株式すべて。

1989 年から 2016 年までの年間成長率は 1.89%

- 中国 (Shanghai Composite Index) 上海総合指数は、上海証券取引所で取引されている株式。

2001 年から 2016 年までの年間成長率は 3.89%

- アメリカ (S&P 500 Index) S&P 500 インデックスは、世界最大の上場企業 500 社。

1965 年から 2017 年までの年間成長率は 9.7%

\* この情報を提供してくれたシンガポールの Cayden 氏に感謝します。

Cayden Chang Value Investing Academy(VIA)創設者

+++++

S&P500 とは何でしょうか？

世界で最も大きな企業 500 社の株が入ったバスケットです。

どういった企業群かというと

Apple, Amazon, Bank of America, Boeing,  
Caterpillar, Chevron, Delta, Dow, eBay, Exxon, Facebook, FedEx, Ford,  
General Electric, General Motors, Hershey, Hewlett Packard, Intel, 等

これらのインデックスファンドの1つに、  
毎月少額の資金を継続して投資することをお勧めします。

伝説の投資家バフェットは、

「株主への手紙」の中で、個人投資家に“ある投資法”を奨めたことがある。

『プロではない人々の目的はパフォーマンスの良い銘柄を選ぶことではありませんし、  
それを実際にすることは本人にもその助言者にも難しいでしょう。

代わりに幅広い領域にわたる企業を買えば、うまくいきます。

S&P500 に連動する低コストのインデックスファンドに投資することにより

この目的は達成できるでしょう。』

退職する準備が整うまで、残りの人生で、  
このように少しずつ投資をし続ける方法もあります。

このようにして、株式市場の変動をほとんど心配することなく、  
長期的な成長をじっくりと楽しむことができます。

そこには、専門的なスキルや能力、分析力は要りません。  
要るとすれば、ある程度の“待つ”という忍耐力が、唯一要ります。

これは受動的な、堅実な投資です。

## バフェットが追求している銘柄とは？

バフェットが追求している持続可能な競争優位性を持つ銘柄とは？

バフェットがしばしば言及している概念の1つに、  
「高い参入障壁（wide moat、直訳では「幅広い堀）」、

つまり、持続可能な競争優位性を持つ株を購入するべきだ、というものがあります。

これは、いったいどういうことなのでしょう？

まず、「高い参入障壁」という用語を理解するために、  
中世のお城について考えてみましょう。

中世においては、  
城に幅広い堀や高い壁があると、  
敵や侵入者が攻撃するのは容易なことではありませんでした。

同様に、企業が永続的な競争優位性を持っている場合には、  
競合他社が市場シェアを奪うことはなかなか困難です。

これらの競争優位性にはいくつかの形態があり、  
その内容は詳細に調べるとよいでしょう。

例えば、コスト上の利点はその一例です。

これは、企業が競合他社よりも低コストで製品を販売できること、  
または同じタイプの製品に対して競合他社よりも多くの利益を得られることを意味します。

コカ・コーラのような会社を考えてください。

その大規模で効率的なネットワークにより世界中で商品を低コストで広く流通でき、  
そのブランド力により高い値付けが可能であり、  
他のドリンクブランドよりも多くの利益を得ることができます。

ネットワーク効果は、もう1つの非常に耐久性のある参入障壁です。

フェイスブックを考えてみましょう。

フェイスブックには20数億人以上のユーザーがいます。

そして、人々が友達や時代に遅れずについて行きたいのなら、フェイスブックを使わなければなりません。

他にも幾つかの利点があります。

例えば、企業が特許などの貴重な知的財産を所有している場合や、商品やサービスの他社への乗り換えコストが高い場合なども大きな利点となります。

バフェットのようにこれらのコンセプトに注目すれば、ポートフォリオ構築の際の銘柄選択で効果を発揮するでしょう。

## 標準的な投資家が成功を収める方法

ウォーレン・バフェットは、標準的な投資家が成功を収める方法についてアドバイスしている。

「何が起こるかはわからない。でも少なくとも米国の追い風が終わっていないことはわかるだろう。長期間にわたって株式を保有すれば良好な結果が得られるだろう。」

バフェットが年次総会で米国への自信を何度も繰り返した。

人生の残りも米国株投資を続け、後継者にもそうして欲しいと語っている。

この自信の源泉のポイントは2つ：

単なる米国でなく米国株であること。

そして、  
単なる米国株でなく長期保有であることだ。

たしかに、我々日本人にとっては、

馴染みある日本企業株を考える方がハードルが低いようには感じるが、

中長期でのリターンという意味では、

やはり、米国株は大変魅力的な投資先だ。

是非、米国株投資を真剣に考えて欲しい。

バフェットは、

「投資業界というのは、地下鉄で通勤している普通の人が、  
ロールスロイスを乗り回している大富豪に金儲けの方法を教える唯一の業界」

・・・だと皮肉って表現しているが、  
巷に溢れているような「投資法則」や「投資必勝法」などの既成概念を、  
すべて忘れ去る必要がある。

それらの「投資法則」や「投資必勝法」というものが、  
もし本当であるのならば、  
世の中には億万長者が溢れているはずなのだが、  
そのような事実はない。

バフェット流とは、アインシュタインの相対性理論ほど理解が困難なわけではない。

むしろ、とてもシンプルで単純な法則である。

しかし、先ずここで理解して欲しいこととは、

固定観念をすっかり捨て去らなければ、

「わからない人には永遠にわからない」ということなのだ。

## 「米国株」が投資先として人気な背景

「米国株」の人気は高い。

一方で、「米国株」に投資してみたいけど、なんだか難しそう・・・

そのように感じている方も恐らくいることでしょう。

しかしながら、

実は、株の全体像や魅力をよく理解されている方ほど、

「米国株」を主軸に投資している方も多いのです。

その理由は、

たとえ、株価チャートを常時追わなくても、  
比較的安全に簡単に投資ができる環境が、  
米国株の市場では整備されているからなのです。

世界の株式時価総額のシェアを見ると、米国株が全体の約 40～50% を占め最大。

これに、中国、日本、香港の各市場が 7～8% 台で追っており、  
米国株式市場規模は群を抜いて圧倒的です。

これは、世界中の投資家が、主に米国株に積極的に投資している・・・

ということの証であるとも言えます。

米中貿易摩擦・貿易戦争、政治動向などによっては、  
景気の冷え込みが一気に加速するのでは？・・・

などの憶測が飛び交いますが、

それでも尚、世界経済の中心地は今も今後もアメリカであり、株式投資の中心が米国株である事実は揺るぎようのないことであろうと考えられています。

世界中の投資家がこぞって積極的に米国株投資を行う理由を整理すると、主に以下の2点になると言えるでしょう。

1. 成長性
2. 株主還元主義（株主還元意識が強い）

## ベンチャー企業への投資をお勧めしない理由

バフェットは、ベンチャー企業には投資をしない。

「『価格』に投資するのではなく『価値』に投資」しているから、どのような市場の変動にも動じない。

他人がパニックに陥っている時に冷静な気持ちを保てるだけで、投資においては大きなアドバンテージだ。

バフェットが、伝統ある堅実な企業への投資を好むのも「本質的価値」の算定がやりやすいからだ。結局は、「本質的価値」なのだ。

一方で、創業したばかりのベンチャー企業の本質的価値の算定は、バフェットにとっても困難である。

よって、バフェットでさえもベンチャー企業には投資しない。

バフェットは、従来からハイテク業界のような変化のスピードが速く、事業内容に対する理解が難しい先には投資しないと公に発言していた。

バフェットの投資哲学のベースとなるのは、



目先の株価にとらわれることなく、  
企業の本質的価値を見定めることなのだ。

現在の価格がその本質的価値よりも安い場合には投資を行い、  
じっくりとその株が本来の価格に値上がりしていくのを待つバリュート投資である。

バフェットの投資に関する鉄則は至ってシンプルである。

ひとつは「損をしないこと」、

そして2つ目は「その原則を忘れないこと」

である。

バフェットは、  
投資タイミングや銘柄を見定めることに対して、  
次のように語っている。

「相談して決めようと思う時、私は鏡を見るんだ」

・・・つまり、答えは市場にはないのだ。

「なぜこの会社を買収するのかという題で1本の小論文を書けないなら、100株を買うこともやめた方がいい。」

相場の世界においては、  
世間を眺めて判断しては、

正しい判断はできない。

まさしく、世間と「逆」が、富を生み出すのである。

バフェット：

「最近、新時代の投資哲学を語る人が増えた。その哲学によると、木々が空まで伸びるように上昇し続ける株が出るという。そんな哲学に乗って割高株を高値づかみする位なら、過度に保守的といわれてペナルティを課せられた方がました」

## 仮想通貨への投資をお勧めしない理由

ウォーレン・バフェットは、「仮想通貨は貝殻のようなもので、価値はない」と述べた。

若い人々の間でも Bitcoin をはじめとした仮想通貨の魅力が今以上に認知される可能性は低いとし、

「孫には私の資産を米ドルで相続してほしい」

「米ドルは価値を蓄えることができるが、仮想通貨はそれができないため、貝殻のようなものだ」と語った。

バフェットはこれまで、

仮想通貨に対しては、

「ペテン師を魅了するもの」

「蜃気楼」

「ギャンブル装置」

「殺鼠剤を二乗した殺傷力を持つ」

「通貨ではない」

とき下ろして来た。

総じて、仮想通貨関連への投資というのは、

実態が見えない為にお勧めできない。

## 自分が理解できない会社に投資してはいけない理由

「投資の神様」として名高いバフェットは、

長期投資で巨万の富を築くことに成功した大投資家だ。

マーケットの動向に一喜一憂し、目先の利益を追求したり、  
短期間で大きなリターンを得ようとする投資家が多く存在する中、

バフェットは、  
いったいどのような投資哲学のもとに銘柄を選定・保有し、  
現在のキャリアと資産を積み上げてきたのだろうか？

バフェット率いる「バークシャー・ハサウェイ」の公開資料によると、

2019年9月末時点でのバフェットの保有銘柄上位は、

1位が「アップル」26.0%、  
2位が「バンク・オブ・アメリカ」12.6%、  
3位が「コカ・コーラ」10.1%で、

以下に

「ウェルズ・ファーゴ」、  
「アメリカン・エクスプレス」、  
「クラフト・ハイツ」

など。

また、他には、誰もが知る生活必需品の分野の企業が続く。

例えば、

「ナイキ」、  
「ジョンソン&ジョンソン」、  
「マクドナルド」

などがある。

投資をする人であれば、

バフェットの株保有銘柄や売買状況を常に把握し、  
自身の投資判断の材料のひとつとしている人も少なくはないであろう。

バフェットはいかにして資産とキャリアを築いたのか？

1965年にパークシャー・ハサウェイを買収して以来、  
50年間でその運用資産を7,000倍以上にも増やした。

その投資手法の根底にあるのは、

綿密な分析をもとに、

本来の価値よりも割安な株を見つけて保有し、  
本来の価値まで株価が戻ったタイミングで売却することで利益を得る  
「バリュー投資」があるとされている。

また、バフェットは自分がよく理解できない事業に対しては、  
いっさい投資をしないことも信条のひとつとしており、

インターネットバブルに世界が沸いた時にも、  
決してその信条を曲げることはなかったのだ。

事業の内容が自分にとって複雑すぎる分野には、  
決して、手を出さなかったということだ。

バフェットが投資をした先というのは・・・

事業内容がわかりやすく、新規参入を受けにくいこと、

そして、価格決定に強みがあることなど、

長期的に需要が高く安定し、成長が見込まれる企業に対して長期的に投資することで、

バフェットは大きなリターンを得てきた。

バフェットの投資手法と銘柄選定基準とは・・・

「仮に、これから先の10年間、株式市場が閉鎖になったとしても、喜んで保有していきたいと思える株だけを買いなさい」

パークシャー・ハサウェイの株主へ向けた書簡の中でこう綴っている。

バフェットは長期投資をベースとした運用を行うことで、長期間に渡って高い運用利益を得てきた。

圧倒的な価値をもつ企業であることが、バフェットの保有銘柄選定基準の大きなひとつである。

## 金よりも株式に投資すべき理由

伝説の投資家ウォーレン・バフェットが、

投資先としての金を好ましく思っていないことは、

よく知られていることだ。

バフェットは自身が2018年に書いた手紙を例に、

金よりも株式に投資することの長期的な重要性を示唆した。

バフェットは以前から、この魅惑的な金属に批判的だ。

パークシャー・ハサウェイの2018年の株主総会で、

バフェットは1942年（自身が初めて株に投資した年）に1万ドルを株式と金に投資したケースを比較。

S&P 500 インデックスファンド（当時はまだ存在しなかったと同氏は述べた）に投資していれば、

2018年には5100万ドル（約55億8,500万円、総会が開かれた2018年5月レートで換算）の価値

になった一方で、

金に投資していれば、

その価値は約40万ドル（約4,400万円、同じく2018年5月レートで換算）だったと説明した。

「言い換えると、アメリカ企業に投資していれば1ドルあたりの価値は増えたが、ニュースを見て恐怖に駆られるたび、急いで買うよう勧められる価値の保存（＝金）につき込んで得られた利益は1セントにも満たない」

とバフェットは言及した。

## 証券会社や金融マンのカモになるな

投資をこれから始めたいと考えている初心者の方々に、是非とも申し上げたいことがある。

それは、

『(投資をするときには)ゴルフのようなハンディ・キャップはもらえない!』

ということである。

脅かすわけではないが、

これは、しっかりと肝に銘じておく必要がある。

対策はあるので、恐れる必要はない。

証券会社などの金融機関が、

「初心者向け」などと称して、じつに様々な商品を売り出しているが、

決して、そのような商品には手を出してはいけない。

興味本位で、手を出してしまうことは、

自らが「カモ」にされることを志願しているかのようなものだ。

パフェットが好む、皮肉なジョークに次のようなものがある。

「30分ポーカーをして、誰がカモかわからなければあなた自身がカモである」

このジョークが何を意味するのかというと、

「何日間か株式投資をしてみて、誰がカモかがわからなければ、あなた自身がカモである」

ということである。

例えば、麻雀部屋に入って、

他人を前にして「私初心者なのですが、宜しくお願いします」などと挨拶をしたら、

テーブルに座っている人々の目がキラリと光り、

後はどうなるかは想像にお任せします。

証券会社などの金融機関というのは、

先述の麻雀卓に座っている人々と同じように、全くの赤の他人であり、友人でも親族でもない。

決して、カモにされないように細心の注意を払うことをお薦めする。

対策は、ひとつ・・・証券マンや金融マンの話に耳を傾けてはいけない。

それだけなのだ。

## バフェットの驚くべき読書習慣

世界有数の資産家であり、「投資の神様」と呼ばれるバフェットは、熱心な読書家としての一面も持ち合わせている。

投資家としてのキャリアを築き始めた頃から、

一日に 600~1,000 ページ読むことを習慣にしていたというバフェット。

そんな彼が推薦する本と、

バフェットの投資や人生における哲学を知ることのできる本を列挙する。

### 【バフェットが推奨する 5 冊の本】

1. 賢明なる投資家—割安株のを見つけ方とバリュー投資を成功させる方法／ベンジャミン・グレアム著
2. 投資で一番大切な 20 の教え—賢い投資家になるための隠れた常識／ハワード・マークス著
3. 破天荒な経営者たち — 8 人の型破りな CEO が実現した桁外れの成功／ウィリアム・N・ソーンダイク・ジュニア著
4. ガイトナー回顧録 — 金融危機の真相／ティモシー・F・ガイトナー著
5. マネーと常識／ジョン・C・ボーグル著

### 【バフェットにまつわる 5 冊の本】

バフェットの成功の秘訣や投資哲学について知りたければ、



バフェットが推奨する本だけでなく、バフェットについて書かれた本も役に立つ。

しかしながら、投資初心者にとっては、いずれも難解すぎるであろう。

1. 億万長者をめざすバフェットの銘柄選択術／メアリー・バフェット著
2. 史上最強の投資家 バフェットの財務諸表を読む力 大不況でも投資で勝ち抜く 58 のルール／メアリー・バフェット著
3. 史上最強の投資家バフェットの教訓—逆風の時でもお金を増やす 125 の知恵／メアリー・バフェット著
4. バフェットとソロス 勝利の投資学／マーク・ティアー著
5. 信用取引は図解で覚える カラ売り 35 の法則／椎名 馨子著

莫大な資産を持ちながらも質素な生活を好み、

「一日の 80 パーセントを読書に費やしている」

「一日に 1,000 ページ読むこともある」

と語る。

読書にまつわるエピソードも豊富であるがゆえ、

その成功の秘訣は、読書習慣の積み重ねにあると考えている人も少なくない。

また、

「知識は、複利のように積み上がっていく。誰でもできることだが、皆さんの多くはやらない」

「ほぼすべての分野において、成功とは、そのことについて情熱を持つことを意味する」

とも語る。

## 伝説の投資家バフェット 12 の教え

●取り引きしている相手を常に知っておく。

『悪い人と良い取り引きはできない。』

●身の周りに置く人は選ぶ。

『自分よりも優れた人と付き合う方が良い。

あなたの手本となるような行動をとる人を近くに置くことで、

あなたもその方向に導かれる。』

●誠実に振る舞う。

『評判を築き上げるには 20 年かかるが、5 分で台無しにできる。

それを考えれば、あなたは振る舞いを変えるだろう。』

●成功したければ、読書習慣を身につける。

『私はただ自分のオフィスの椅子に座って、一日中、読書をしている。』

●物事がうまく行っている時、悪いことは気づきにくい。

『結局、誰が裸で泳いでいたのか分かるのは、潮が引いた時。』

●物事はシンプルに。

『非凡な結果を得るために、非凡なことをする必要はない。』

●皆の逆を行く。

『他人が貪欲な時は慎重に、慎重な時は貪欲に。』

●成功は、値札や数字によって決まるものではない。

『私は、私のことを好きな人がどれだけいるかで成功を測る。』

●自信を持つ。

『私は常にお金持ちになると分かっていた。

疑ったことは一瞬たりともないと思う。』

●恵まれない人に手を差し伸べる。

『あなたが人類で最もラッキーな 1%に属しているのなら、  
残り 99%の人々について考える責任がある。』

●ビジネスの基本を忘れない。

『価格はあなたが払うもの。価値はあなたが得るもの。』

●投資で成功するために、天才である必要はない。

『ロケット科学者である必要はない。』

投資は、IQ160 の人が、IQ130 の人を打ち負かすゲームではない。』

## バフェットの 6 つの人生訓

### 1. ウォーレン・バフェットは多くのことに感謝している

バフェットは、自らの人生すべてに感謝している。  
生きていることをありがたいと思い、自分のビジネスに、  
家族に、自らの慈善活動が及ぼす影響に感謝している。  
その深い感謝の思いが、彼の寛大な精神の源なのだ。

人生訓：感謝をもって生活すれば、謙虚さが生まれる。

### 2. ウォーレン・バフェットは前向きな展望を持っている

ウォーレン・バフェットは心から幸せを感じている。  
自身のビジネスを信じ、自分が投資した企業に信頼を置いている。  
長期的な見通しを持つことの重要性を確信している。

彼は、物事に逆らって賭けるわけではない。物事の方向性に賭けるのだ。

**人生訓：**オープンマインドを持てば、より多くのチャンスにアクセスできる。

### 3. ウォーレン・バフェットはリスク・テイカーだ

ウォーレン・バフェットはリスクに手を出す。  
しかし、あなたが想像するようなリスク・テイカーではない。  
私たちはビリオネアを、わが道を行く大胆不敵な人間だと考えている。  
並外れて大きな賭けに手を出し、大きなリターンを得るために進んで「すべてを賭ける」人物なのだろうと。  
しかし、バフェットが手を出すリスクはまったく違うタイプのものだ。  
それは「計算されたリスク」である。  
バフェットは価値志向の投資家として、一定の投資原則に従って投資の決定を下し、リスクに向き合っている。

**人生訓：**あなたに何らかの原則があるなら、リスクを評価する方法をすでに知っているということだ。

### 4. ウォーレン・バフェットは自分らしく行動する

ウォーレン・バフェットは、ウォーレン・バフェットらしく行動するのが得意だ。  
他人に褒められようとか、ほかの人のような生き方をしようとは考えていない。

昼食には、アシスタントが同行しなかった。  
ボディガードや、リムジンの運転手もない。  
バフェットは自らハンドルを握って運転してきたのだ。  
ウォール街では仕事をせず、いまでも 1958 年に 3 万 1,500 ドルで購入した家に住み続けている。  
キャビアを食べたり、シャンパンを飲んだりしない。  
それよりも、チーズバーガーを食べて、ルートビア・フロートを飲む方が好きなのだ。

**人生訓：**自立していることで、かなりの自由が手に入る。

## 5. ウォーレン・バフェットは、自分が何を得意かを知っている

いくら稼げるかで仕事を選ぶ人があまりにも多い。

名声が手に入るからとか、同級生が選んでいるからという理由で職業を決める人も多い。

しかし、誰もが、自分が秀でている仕事に焦点を当てる世界を想像してほしい。

ウォーレン・バフェットは、本当に投資に長けている。

自分が理解できる企業に投資をし、理解できない企業には投資をしない。

最新トレンドに資金を投入するほかの投資家の真似をすることはまずない。

**人生訓：**本当の自分を知れば、もっと効率のいい人生になる。

## 6. ウォーレン・バフェットは馬車馬のように働く

ウォーレン・バフェットは、見世物の馬のようだと誤解されがちだ。

テレビに頻繁に出演するし、バークシャー・ハサウェイ傘下のファストフード店「デイリー・クイーン」で食事する姿を写真に撮られたこともある。

バークシャー・ハサウェイがネブラスカ州オハマで開催する有名な株主総会でホスト役も務める。

確実に言えるのは、ウォーレン・バフェットは見世物の馬ではないということだ。

彼は馬車馬のように働き、何から何までこと細かに把握・分析し、自分のビジネスに精通している。

初めて投資したときのことを、最近の投資と同じように詳しく説明することができるのだ。

**人生訓：**偉大になるための近道はない。ハードワークあるのみだ。

## バリュート投資家 ケイデン・チャンの教え

世界的に実証された王道の堅実な投資法 バリュート投資！

その考え方の基礎を学べる株式基礎解説音声を手に入れます。

是非、今すぐダウンロード下さい。

- ★これから投資を始める方に知っておいてほしいこと
- もう投資している方に知っておいてほしいこと

[https://drive.google.com/file/d/1OjQ3GIBSZzmavRA\\_mT4B4uZ0uQWRuWlx/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1OjQ3GIBSZzmavRA_mT4B4uZ0uQWRuWlx/view?usp=sharing)

※スマートフォン・タブレットで再生出来ない場合パソコンで再生下さい。

### ●これから投資を始める方に知っておいてほしいこと

- ①なぜ「デイトレード」と言われる短期投資よりも長期投資の方がいいのか？
- ②どのくらいの金額から始めればいいのか？
- ③2020年東京オリンピック直前に株を購入するのは正解？ 不正解？

### ●もう投資している方に知っておいてほしいこと

- ④現在マイナスの株はどうすればいいのか？
- ⑤アメリカ市場の株を取引するのはどうなのか？
- ⑥塩漬け株はどうしたらいいのか？

- ★これから投資を始める方に知っておいてほしいこと
- もう投資している方に知っておいてほしいこと

[https://drive.google.com/file/d/1OjQ3GIBSZzmavRA\\_mT4B4uZ0uQWRuWlx/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1OjQ3GIBSZzmavRA_mT4B4uZ0uQWRuWlx/view?usp=sharing)

※スマートフォン・タブレットで再生出来ない場合パソコンで再生下さい。

【バリュー投資大学 HP】：<https://valueinvesting.jp/>

※バリュー投資情報を掲載 是非、ご覧ください。

### 第3章 あとがき 監修者ご挨拶

我々現代人にとって、

益々の国際化する世界のスピードに如何について行くのか？

また、

その過程の中で日々新たに生まれるチャンスという機会を

如何に捉えて行くのか？

腰を据えてしっかりと考え自ら行動を起こす力が、

これ程迄に問われている時代は、

かつて経験した事がないと思います。

そんな時代を上手く乗り越え、

心身共に豊かな人生を手に入れる秘訣について、

皆さんに伝えています。



今回のバリュート投資の教科書では、

まず、

常々声を大にしてお伝えをさせて頂いている

株式投資、資産形成の全体像とバリュート投資の概要や魅力を

少し掘り下げてお話させて頂いております。

そして、

シンガポールからは、

成功と富、株式投資について正しく理解し、

それを体現している投資の第一人者が

メンターとして登場しています。

既に実績ある本物から学ぶことは、

一番賢明な基本的投資だと思います。

今回のバリュート投資の教科書では、

投資について、そのエッセンスを共に学び、

豊かな人生を送れます様に啓発して参りましょう。

監修者：

丸山 拓臣

株式会社 APEX PORE JAPAN 代表取締役  
バリュー投資アカデミー 日本 事務局長  
バリュー投資大学 事務局長

## Takumi Maruyama

経営コンサルタント。1981年福島県生まれ。2004年同志社大学卒。大手商社出身。世界的ビジネス界の権威や海外有力実業家との関係構築や交渉を得意としている。人材育成事業セールスプロモーター。日本最大規模 本格的バリュー投資スクールを運営。語学堪能で、海外VIP専属通訳としても活躍中。

### 【契約実績】

- ・ロバート・キヨサキ国内独占販売契約
- ・ロバート・アレン専属エージェント契約
- ・ケイデン・チャン専属エージェント契約

### 【プロモーション】

- ・World Business Expo 2018 1万人イベント
- ・ロバート・アレンミリオネアクラブ

### 【翻訳本】

- ・日本人のためのお金の増やし方大全  
フォレスト出版（監訳）
- ・幸せをつかむ「4つの地図」の歩き方  
フォレスト出版（監訳）
- ・いつの間にかお金持ち！ はじめての「株」入門  
高橋書店（編集協力）

## 免責事項

DISCLAIMER

バリュー投資アカデミー、バリュー投資大学とその運営会社は、証券会社、ディーラー、または登録済みの投資アドバイザーによって運営されているものではありません。いかなる状況においても、これらの文書、注釈、注記、映像、音声で提供される情報は、証券の売買の推奨を表すものではない。

バリュー投資アカデミー、バリュー投資大学とその運営会社は、いかなる場合においても、投資の損失、利益の損失を含む、ここで共有されるコンテンツの使用に起因するあらゆる種類の損害について、参加者、視聴者、閲覧者、ゲスト、または第三者への、機会喪失、特別、偶発的、間接的、結果的または懲罰的損害に関連し責任を負わない。

過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスの指標としては不十分である。このプレゼンテーションに関する情報は、投資のアドバイスや推奨を意図したのではなく、またそれを構成するものでもない。提供される情報は、完全性、正確性、またはその他の方法を保証するものではない。

Copyright © APEX PORE JAPAN Co.,Ltd. All rights reserved.

Copyright © APEX PORE JAPAN Co.,Ltd. All rights reserved.